# 施工基準

葉山町枯れ松防除補助金交付要綱(平成11年4月1日施行)第8条の規定により、枯れ松の防 除に必要な施工基準について次のとおり定める。

### 伐倒駆除施工基準

カミキリ成虫の羽化脱出(6月ごろ)までに被害木を伐倒し、玉切り・枝払いを行うこと。枝条・根株・幹については一つ残らず、全量搬出・くん蒸・薬剤散布のいずれかの方法により処理すること。

#### (1) 全量搬出

枝条・根株・幹ともに全量搬出し、焼却または破砕による処理を行なうこと。

- ・搬出後は速やかに処理すること。またカミキリの幼虫は太さ2cm以上の枝にもいるため、取残しや取落しがないように徹底すること。
- ・破砕により処理する場合は、木片の厚さを15mm以下にすること。
- ・根株は地際で伐採すること。それが困難な場合は、くん蒸又は薬剤散布により処理すること。

#### (2) くん蒸

枝条・根株・幹を集積した材の上に薬剤をかけ、速やかにこれをポリシート等で被覆・密封 して所定日数放置すること。

- ・使用薬剤はカーバム剤とし、調整した薬剤は当日中に使用すること。
- ・できるだけ日光の当たる場所を選び、集積する際は枕木を入れること。

### (3) 薬剤散布

枝条・根株・幹ともに薬剤を散布する。この処理はカミキリの幼虫が樹皮下に生息している 期間(10月末まで)に行なうこととし、それ以降は他の方法により処理すること。

- ・使用薬剤はMEP乳剤又は油剤とし、調整した薬剤は当日中に使用すること。
- ・樹皮が濡れているときは、樹皮が乾いてから薬剤散布を行なうこと。また雨が予想されると きは実施しないこと。
- ・散布器のノズルをできるだけ樹皮に近づけ、薬剤が飛散しないようにすること。また薬剤が 充分浸透するよう徹底すること。

## 樹幹注入施工基準

カミキリの発生する時期に樹木全体に薬液の移行が終わっているように、注入時期を考慮すること。製品ごとに性質が異なるため、注入方法・使用量等については、農薬登録における注意事項等を遵守すること。また薬剤は薬効が7年以上あるものを使用すること。

- ・樹幹注入の薬剤には治療効果はないので、枯損した松には使用しないこと。
- ・整形したものや移植直後など樹勢が弱い松には使用しないこと。
- ・注入は晴天の日を選び日中に行なうこと。
- ・注入孔には速やかに癒合材を充填すること。

#### その他の注意事項

危険が予測される場合は、作業者以外が現場に近づかないように囲いや立て札を立てるなど配慮し、一連の作業が完了するまで現場監督等を配置すること。

薬剤は、農薬取締法に基づき農薬登録を受けている松くい虫用の薬剤を使用し、適正な使用及び安全な管理を行なうこと。また周辺へ飛散しないように配慮し、必要に応じて周知を図ること。

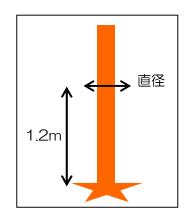
初夏	夏~秋	秋~冬	春	
羽化脱出したカミキリ	線虫が増殖して松が枯	カミキリの幼虫は材内	カミキリは蛹になり、	
が若い枝をかじり、松	れ、枯れた松にカミキ	に穿孔し蛹室をつくる	羽化するときに線虫が	
に線虫が侵入する	リが産卵する		カミキリに寄生する	
全量搬出・くん蒸				
薬剤散布				
樹幹注入				

## 枯れ松防除補助金申請のあらまし

施工には専門的な技術が必要です。業務に精通した業者に委託してください。

## 補助対象となる松

同場の気象とのは			
	地上高1.2mの 幹の直径	松の状態	
伐倒駆除	10cm 以上	松くい虫により枯死(注1) 後最初の5月末日までに伐 倒したもの	
樹幹注入	20cm 以上	健康な松(注2)	



- 注 1 枯死 (葉が全て赤褐色になる) は 8~10 月ごろに 発生します。
- 注2 樹幹注入は枯死した松には効果がありません。

# 補助金の額

- ※必ず領収書を添付してください。また、確認のために内訳書(項目ごとの金額がわかるもの)の提出を求めることがあります。
- 伐倒駆除に要した額の1/2(100円未満の端数切捨て)で、松1本につき1万円(法人は5,000円)を限度とします。
- 伐倒駆除に要した費用とは、伐倒に係る委託料、薬剤費及び処分費をいい、自身で 施工した場合の作業用器具等の購入費や賃貸料、燃料費及び飲食料費は含みません。
- 樹幹注入に対する補助は松 1 本につき5,000円(法人は2,000円、かつ1年度につき1万円まで)です。

# 処理の方法

- ・施工基準に基づき、伐倒した幹、根株及び枝条を適切に処理してください。
- ・メジャー等を用いて地上高1.2mの直径が分かるもの、松の全体がわかる施工前の もの及び施工後(樹幹注入は施工中)のものそれぞれの写真(計3枚)を添付して ください。

## 位置図

- 防除を実施した松の本数及び表との対応がわかるように記載してください。
- •表には松ごとに地上高 1.2mの直径、樹高、防除の方法を記載してください。

